



▲喜びの榎田選手(右)



▼全日本初優勝の宝田選手(中央) 第2戦4位の杉本選手▲▼



'92全日本ダートトライアル CMSC勢開幕3連勝(AIVクラス)!

第1戦 札幌・宝田芳浩選手 第2・3戦 岐阜・榎田正文選手

全日本ダートトライアル第1戦は、例年通り熊本県荒尾市の三井オートスポーツランドで開催されました。AIVクラスでは、CMSC札幌の宝田芳浩選手が積極果敢な走りをみせ、全日本初優勝の快挙をもにしました他、5位にはCMSC岐阜の榎田正文選手が入賞。CMSC勢の健闘ぶりが目立ちました。1stトライ2番手の宝田選手は、前半の直線、高速コーナ

ーをフルスロットルで激走。後半のテクニカルコースでも絶妙のライン取りで好タイムを上げ、開幕戦、しかも全日本初勝利をものにしましたのです。

続いて第2戦は、奈良県の名阪スポーツランドで開催されました。AIVクラスではCMSC岐阜の榎田選手が、1stトライ、2ndトライともトップタイムを記録する圧倒的な強さをみせて優勝。2位には

CMSC群馬の荒井信介選手、4位にはCMSC大阪の杉本達也選手、6位にはCMSC山形の赤羽政幸選手が入賞しました。前日の雨の影響でコースはウェットな状態でしたが、1stトライで榎田選手はワダチをうまく乗り切り、トップタイムをマーク。その後、ハイスピードレースとなった2ndトライでさらにタイムを縮め、トップで圧勝したのです。

長野県のスポーツランド信州で行われた第3戦では、榎田選手が2ndトライで一挙に逆転優勝を遂げ、第2戦に続いて2連勝を飾りました。さらにCMSC群馬の荒井選手、CMSC札幌の千田俊二選手、CMSC山形の赤羽選手がそれぞれ6位～8位を占めて大健闘。CMSC勢は開幕3連勝の快挙を成し遂げたのです。過酷なヘアピンを完璧にこなし、見事優勝の栄冠を手にした榎田選手をはじめ、各選手の今後の活躍がますます期待されます。

積極的な2ndトライで、初優勝の開幕戦!

全日本ダートトライアル選手権 参戦記

CMSC札幌 宝田 芳浩

'92全日本ダートトライアル開幕戦は、北海道にいる私にとって一番遠い、九州での開催となりました。4月ということでは練習できず、不安が残っていたものの、予選当日は雨。ウェットなコンディ

ションに、雪道での練習がここで生かせるという気持ちで臨み、予選1本目を6位で通過しました。6位入賞を目指していたので、まずは目標達成です。

決勝当日、雨はあがったものの所々ウェットな状態の中を、ドライ用タイヤでスタートしました。雪道と違ってグリップもコントロールしやすく、1本目は2位で終了。しかし、2本目は各クラス異常な

までのタイムアップで1本目のタイムが参考タイムにもならず、2本目の一本勝負となりました。かなり緊張しつつ2本目をスタート。自分でも驚くほどスムーズにコーナーをクリアしてゴールを果たし、開幕戦でまさかの優勝を遂げることが出来ました。

喜びも束の間、今後の全日本で予測のつかない戦いに、大変なプレッシャーを感じています。

心機一転、新型ランサーでトライアル。

ダートトライアル岩手県シリーズ 参戦記

CMSC岩手 工藤 長実

東北の長い冬も終わり、岩手にもモータースポーツの季節が到来。4月26日、ダートトライアル県シリーズ第1戦が、岩手県高原駐車場で開催されました。私は昨年まで、ギャランVR-4で出場していましたが、今年から心機一転、新型ランサーにチェンジしました。CD5 Aで出場して感じたのは、ギャラン

と比べてブレーキ性能が優れ、ノーマルパッドでも十分な制動が得られるのではないだろうかということ。コーナリングに関しては、「あれ、ギャランだったらコースアウトかな?」と思うようなスピードで突入した時も、楽に走り抜けることができたように思います。当初自分で想像していたより、操作性もかなり良く、セッティングを煮つめていけば、まだまだタイムをつめる余地があると考えます。

これからのラリーやダートトライアルには、ひき

続き新型ランサーで出場していきたいと思っておりますので、今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

工藤選手の走り



総合クラス6位入賞。所期目標を見事達成!

DE地区 地方選手権ラリー 参戦記

CMSC大阪 中田 裕二

4月25日。「遅刻したら大変や」とばかり、食事もとらずに急いで出かけたスタートナイトラリー。恵那インターでおり、アルプスの残雪が光る新緑の美しい風景を楽しみながら、梶の上高原会場へ。ギャランVR-4を快調に走らせるチームメイトは、種

口、山下組の2クルーエントリーです。CMSC大阪が発足して約1年。杉本達也会長の叱咤激励のもと、今年の中部・近畿地区ラリー選手権の第1戦ということもあり、みんな張り切って臨みました。

さて競技内容は、グラベル70%、ターマック30%からなる2ステージ制で、スペシャルステージ9本約30kmを含み、ラリー区間の補正に大いに悩む設定。1ステージの傾向をみて2ステージに対処し、

さらに全開走行、という作戦をとりました。石がゴロゴロしているコースに多少苦しみながらも、無事に完走。総合クラス6位入賞で初期目標を見事達成し、非常に嬉しい成績をあげることができたのです。樋口ちゃん、今年も頑張らな!次は地元でっせ!



トラブル続出ながらも、無事完走!

DE地区 地方選手権ラリー 参戦記

CMSC岐阜 浅野 博孝

毎年恒例の「スタートナイトラリー」。例年ならオフィシャルとして出かけるところなのですが、何と今年はCクラスに出場することになりました。車は新型ランサーRS。ナビゲーターは、今回で3戦目というCMSC岐阜の事務局員であり会員でもある早瀬

要治氏。最年長コンビとしての出場です。

第1ステージ中盤頃から、コンピューター故障が始まりパニックの様相。さらにアンダーガードがミッションケースに当り、室内で何を言っても聞こえない状態の中、何とかSS4本と6CPを終え、サービスポイントで応急処置をしてもらって第2ステージへ。ところが、またもやラリー終盤に入ってトラブル発生。SS8でマフラーステーがプロペラシャフ

トに食い込んでしまい、異常音が発生しました。何とか完走はしたものの、大変に苦労したラリーとなったのです。尚、クラブ員でAクラス出場の三園君はダンガンで健闘。7位の成績でした。

サービスポイントでお世話になった皆さん、岐阜地区よりオフィシャルとして出かけて下さった皆さん、本当にありがとうございました。

悪天候の中、多数のエントラントに感謝!

CMSC群馬

群馬ダートラリーシリーズ第2戦

'92CMSCトライアルin那須 5月24日

どしゃぶりの雨が降る5月24日、丸和オートランドにて、群馬ダートラリーシリーズ第2戦'92CMSCトライアルin那須が開催されました。悪天候にもかかわらずエントリーは何と153台にのぼり、主催者である私たちは一安心。前日から降り続いていた激しい雨をもとせず、果敢なレースが展開されました。

丸和にしては比較的テクニカルな、約1.9kmのコー

ス設定。1本目はやはり雨のためか、タイムは全体的にもう一つといったところでした。天気予報は次第に良くなるということだったので、2本目に期待をかけたものの、強風にあおられさらに雨足は強くなり、おまけにヒョウまで降り出す始末でした。結局、2本目のタイムも思うように伸びないまま。あまりのコンディションの悪さに、本来の自分の走りができなかった選手も多かったように思います。

表彰式も大雨の中、喜びにひたる間もなく慌ただしく行われました。今回の三菱車のエントリーは16台でしたが、恒例の三菱賞は、1位堀部泰選手、2

位相良治選手、3位山田新二選手、という結果になりました。輝かしい栄冠を手に入れた皆さん、おめでとうございました。最悪のコンディションではありましたが、お陰様でトラブルもなく無事競技を終了することができました。関係者の皆さん本当にありがとうございました。本年も多数のエントリーを期待しております。

(CMSC 群馬 堤 玲子)



エントリー台数の割に盛り上がった第1戦。

CMSC山形

山形県トライアルシリーズ第1戦

4月19日

4月19日、山形県トライアルシリーズの第1戦目を開催。非常に天候に恵まれ、快晴の中49台の出走となりました。一台でも増やそうと多方面に働きかけ、参加要請に努めたのですが、結局その努力の甲斐もなく、昨年の参加台数を下回ってしまいました。非常に残念でもあり、今後の反省点でもあります。

さて、三菱勢はA-IIIクラスに旧型ミラージュ4WDが1台、新型ミラージュ4WDが3台。新旧交替の時が来たという感じで、順位も新型ミラージュが上位に入り、旧型ミラージュは何とか10位といったところでした。注目のA-IVクラスの方には、ギャラン(240



上位入賞の新型ミラージュ

PS)が5台、新型ランサーが1台。ギャランの方では2本目に、当クラブ員の若手のホープ渡辺選手が、気迫に満ちた積極的なチャレンジをみせ、ギャラリーは大変盛り上がりしました。



気迫あふれる走りのギャラン渡辺選手

尚、今年9月15日にはジムカーナの東北戦を開催します。そちらに照準を合わせて、クラブ員全員一丸となり、ますます頑張っていきたいと思います。

(CMSC山形 菅野 茂)

豊富な主催経験を活かしてスムーズな進行。

CMSC香川

'92CMSCタイヤスタージムカーナ

4月26日

4月26日、ビスタランド大豊にて四国地方チャンピオン戦の第5戦、'92タイヤスタージムカーナを主催しました。四国ではこの1~2年の間に、チャンピオン戦とフレッシュマン戦でエントリーがはつきりと分かれてしまい、どうもチャンピオン戦離れが進行している感じです。ちなみに今回の総参加台数は96台。チャンピオン戦にしては少し淋しいというところでしょうか。また、四国では比較的多量の参加が少ない感がありますが、今回はCMSC香川の田村選手が、ミラージュサイボーグターボでA-IIIクラスに参加。無事完走しました。

さて、競技の方は午前8時45分、第1ヒート開始。

順調に進むかに見えたのも束の間、ジムカーナとしては珍しくコースアウトリタイヤが出てしまいました。もっとも当クラブ員は、ダートやラリーの主催経験が豊富。コース脇の溝に落ちた競技車に対しても敏速に対応し、事無きをえました。

次のイベントは、8月29~30日の'92CMSCタイヤスターラリー。これからもクラブ員一同、チームワークの良さを活かして張り切っていきます。

(CMSC香川 白井修)



A III参加完走の田村選手

スタッフ全員の協力で、無事に競技を終了。

CMSC福島

'92CMSCタイヤスタージムカーナ

3月22日

3月22日、CMSC福島主催によるタイヤスタージムカーナが行われました。あいにくの大雪で何とコース上には50cm以上の積雪があり、ほぼ開催不可能な状態。チーム全員が、会場であるエビスサーキットの人達と共にほとんど徹夜で除雪作業を行って、

やっとのことで競技をスタートさせました。

所々濡れてはいるものの、全体的にはドライなコース状態。思いのほかいいコンディションに、かなりパワフルな走りが展開され、無事競技を終了することができました。ご協力いただいた皆さん、どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。



A III 1位の佐藤選手

コンディションの悪さにも、気迫で善戦。

'92全日本ジムカーナ選手権 第3戦参戦記

CMSC青森 小館 久

宮城県SUGOサーキットカートコースで、'92全日本ジムカーナ選手権第3戦が開催されました。昨年、C53AミラージュCIIIマシンを製作して、やっとFFFになれた私たち。'91年の全日本のこともあり、今回は

絶対勝ちたいという気持ちで挑みました。

23日の公開練習は2番手タイムで終了。翌24日の競技当日は、霧で視界が悪く雨が降ったり止んだり嫌な天気のため、1本目は59秒251のタイムでトップと0.24秒差、しかしパイロンタッチ有り、という結果でした。同じCMSC青森のメンバーである佐々木堅太郎君にもパイロンタッチがあり、2本目に臨

むに当たってお互いに多少プレッシャーがかかっていました。2本目の私のタイムは57秒877。一方、佐々木君は57秒766をマーク。結果、彼は堂々全日本3位となったのです。20歳の佐々木君、おめでとう。

まだまだもう一つ、思うような結果がでない私ですが、マシンも出来る限り自分なりに煮詰めていくなど、これからいっそう頑張ります。

大健闘で今後のレースにますます期待。

ミラージュ東北シリーズ・フォーラスカップ第2戦

CMSC仙台

西仙台ハイランドでのミラージュ東北シリーズ、フォーラスカップ第2戦は、晴天、ドライコースという最高のコンディションの中で行われました。予選は27台の出走でしたが、今年から我がCMSC仙台の一員となった東江選手がトップタイムを出して初のポールポジションからのスタート！今野選手は、いま一つマシンの調子が上がらず16位となりました。さて29日の決勝当日。ポールからスタートの東江選手は、燃料系のトラブルで一時4位まで後退。苦

しみながらも前後のマシンとすさまじいバトルを繰り返し、結果3位に入賞しました。今野選手は好スタートをきり、第1コーナーまでに2台3台と追い抜いて、1周目には8位をキープ。しかし、後続車との距離があいており一瞬気のゆるみがあったのか、ラスト2周目で突然スピン。結局、順位を一つ落としたものの9位でゴールインとなったのです。



2台のマシンが10位以内に入賞できたことは、大いに今後の自信につながります。両者共に第1戦目は納得のいかない成果だっただけに、今回の喜びはまたひとしお。これからのレースが期待されます。(CMSC仙台 齊藤)



惜しくも3位の東江選手(写真左)、大健闘の仙台勢2台

果敢な走りで追い上げに拍車をかける！

'92ミラージュカップシリーズ 参戦記

CMSC埼玉

'92年4月、ミラージュカップシリーズがいよいよ開幕。我がCMSC埼玉も昨年に続いて、ミラージュインターナショナルとフレッシュマンにそれぞれ1台ずつエントリーすることができました。インターナショナルには、リョーインさんとリックさん、フ

レッシュマンには昨年同様、鴻池運輸さんの強力なご支援をいただくことになりました。

ミラージュインターナショナル第1戦は、久々の6位入賞でさい先の良いスタート。エンジントラブルで一時は出場も危ぶまれた第2戦も、関係各位の皆様のご協力により、無事完走することが出来ました。一方、筑波サーキットで行われたフレッシュマンの第1戦は、予選通過28台に対してエントリーが

39台。かなり厳しい状況でしたが、最後尾ながら何とか予備通過を果たし、さらに決勝では15位まで順位を上げることができたのです。残る全戦、最後まで力いっぱい頑張りたいと思います。



すさまじいバトル、迫力あるレース展開。

ミラージュカップシリーズ第2戦 観戦記

CMSC島根 祖田 和安

5月10日、山口県のMENEサーキットで行われたミラージュカップを観戦しました。会場にはモータースポーツを通して知り合った友人も多く来ており、大変楽しいひとときを過ごすことができました。

今年からは新型ミラージュになり、エンジンがターボからNAに。このためタムの点で昨年より面白味にかけるのではないかと心配しましたが、レースではすさまじいバトルが演じられ大いに盛り上がりました。CMSC山形の小川選手も9位と健闘。また機会があればぜひ応援に行きたいと思います。

'92全国大会のお知らせ

昨年に引き続き、ことしもCMSC全国大会を8月に開催します。皆さんふるってご参加下さい。日程は下記のとおりです。

- 日時：8月22日(土)
- 場所：福島県東北サファリパーク・エビスサーキット
- 内容：支部対抗ジムカーナ競技など

CMSC山形、選手層の厚さで着実にポイント獲得。

'92チャレンジカップ

'92年CMSCチャレンジカップ、1月～5月期の第一次集計結果を発表します。クラブ別獲得ポイント

をみると、今期のトップは、コンスタントにポイントを重ねてスタートから快調に飛ばしているCMSC山形。各部門毎、大活躍をみせる選手層の厚さが決め手となっているようです。山形を追って2位に群

馬、3位に青森が続き、各クラブ共、それぞれ大いに健闘しています。チャレンジカップのポイント争いは、まだまだ序盤戦。部門別の個人タイトル争いとあわせ、今後も白熱した展開が予想されます。

●クラブ別獲得ポイント

	1～5月	6～8月	9～11月	12月	合計
山形	425				
群馬	360				
青森	318				
帯広	275				
岐阜	253				
札幌	242				
香川	222				
岩手	149				
島根	122				
愛知	71				
埼玉	64				
仙台	64				
大阪	46				
栃木	42				
千葉	4				
福島	—				

●ラリー・ドライバー部門

	186	岐阜
榎田正文	186	岐阜
荒川信介	129	群馬
及川光政	123	岩手
千田俊二	118	札幌
青沼達也	116	帯広
菅野茂	106	山形
宝田芳浩	96	札幌
白井修	86	香川
高竹優之	84	香川
千田俊二	74	札幌

●スラローム部門

	140	青森
小館久	140	青森
佐々木賢太郎	108	青森
赤羽政幸	90	山形
北脇幹人	18	島根
古藤浩美	11	島根
土江厚	9	島根
神田昌明	5	島根
小出辰彦	5	愛知
砂塚明男	2	山形
荒井信介	1	群馬

●レース部門

	48	山形
小川日出生	48	山形
川口法行	32	栃木
東江誠	30	仙台
鈴木一彦	18	山形
瀬在仁志	14	埼玉
今野広志	8	仙台
荒井信介	5	群馬
平井みつよ	2	埼玉
小出辰彦	1	愛知

●ラリー・ナビゲーター部門

	32	山形
今野泰正	32	山形
高柳満	30	愛知
金子誠司	28	群馬
中村洋次	24	帯広
瀬々徹	24	埼玉
巻口実	2	札幌
早瀬要治	2	岐阜
浅沼高典	2	岩手
浅場武	2	群馬
困俊郎	2	愛知

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
	B 20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

リタイアには予選不通過も含む

A = ラリー……………全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ
スラローム…全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMRCシリーズ
レース……………全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ
B = それ以外の競技会

訂正とお詫び

今号、CMSCジャーナルVol.34のチャレンジカップの個人部門別ポイント集計に誤りがありましたので、ここに訂正とお詫びを申し上げます。

(正)

●ラリー・ドライバー部門

千田俊二	札幌	74
渡辺俊昭	山形	58
船津康一	群馬	48
福本光志	帯広	24
佐藤一彦	埼玉	24
佐藤政一	仙台	21
中西裕二	大阪	12
三園孝	岐阜	10
松田徳之	群馬	3
伊藤康晴	札幌	3

●ラリー・ナビゲーター部門

今野泰正	山形	32
高柳満	愛知	30
金子誠司	群馬	28
中村洋次	帯広	24
瀬々徹	埼玉	24
巻口実	札幌	2
早瀬要治	岐阜	2
浅沼高典	岩手	2
浅場武	群馬	2
困俊郎	愛知	2

●ダートトライアル部門

楢田正文	岐阜	186
荒井信介	群馬	129
及川光政	岩手	123
青沼達也	帯広	116
菅野茂	山形	106
宝田芳浩	札幌	96
赤羽政幸	山形	90
白井修	香川	86
高竹優之	香川	84
国谷益雄	島根	56

●ジムカーナ部門

小館久	青森	140
佐々木賢太郎	青森	108
北脇幹人	島根	18
古藤浩美	島根	11
土江厚	島根	9
神田昌明	島根	5
小出辰彦	愛知	5
植田智則	島根	4
砂塚明男	山形	2

●レース部門

小川日出生	山形	48
川口法行	栃木	32
東江誠	仙台	30
鈴木一彦	山形	18
瀬在仁志	埼玉	14
今野広志	仙台	8
荒井信介	群馬	5
吉沼昭彦	栃木	4
平井みつよ	埼玉	2
小出辰彦	愛知	1

今後、誤りのないよう務めます。誠に申し訳ございませんでした。

CMSCジャーナル編集部